2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ)					担当教員	広田秀樹 (ヒロタ ヒデキ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型 AL
	2025-0-31-060	ゼミナール 科目	必修	2単位	3年次	通年		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型 AL
	2425-0-31-005	ゼミナール 科目	必修	2単位	3年次	通年		

① 授業のねらい・概要
グラスルーツグローバリゼーションという地域活性化プログラムに取り組む。具体的には、第1に地域の外国人の方等をゼミに招待し意見交換を行う。第2に外国人の方等が集まる場所を訪れし交流を深める。第3に上記活動等をきっかけにして、探究的学習を進め世界的レベルの知見・視野を身につける。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢/職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/コミュニケーション能力/情報収集・分析力を育成する授業
③ 授業の進め方・指示事項
グラスルーツグローバリゼーションというゼミの地域活性化プログラムのキー・コンセプトを理解した上で、学生自身がチームを組み自主的に常に新しい発想をもって活動を進めること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
地域経済論
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
学習資料を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
ステイーブン・カースルズ、マーク・J・ミラー(関根政美・関根薫訳)(2011)『国際移民の時代』名古屋大学出版会
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
人口構造の激変を背景に地域は生き残り、勝ち残りを迫られている。若者特有の、固定観念、通説を打破する飛躍性、エネルギー、個性、独創性を引き出すようなゼミをつくって行きたい。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) グローバル化と地域を理解できること。 (ii) グローバルな知見・視野を拡大すること。 (iii) グローバル化のファクターを地域発展に取り込む戦略を提言できること。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) グローバル化と地域の関係の理解	グローバル化と地域の関係に関して資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	グローバル化と地域の関係に関して資料等に頼らず説明できる。	グローバル化と地域の関係に関して資料等を参照しながら説明できる。	グローバル化と地域の関係に関して資料等を参照しかつ教員等の支援を得て説明できる。	グローバル化と地域の関係に関して資料等を参照しても教員等の支援を得ても説明できない。
(ii) グローバルな知見・視野の拡大	授業内容を越える水準でグローバルな知見・視野を拡大している。	授業内容に沿って十分にグローバルな知見・視野を拡大している。	授業内容に沿って不十分ながらグローバルな知見・視野を拡大している。	授業内容に沿って辛うじてグローバルな知見・視野を拡大している。	グローバルな知見・視野の拡大ができていない。
(iii) 地域発展に関する提案	地域発展に関して効果的かつ独創的な提案ができる。	地域発展に関して適切な提案ができる。	地域発展に関して不十分ながら提案ができる。	地域発展に関して辛うじて提案ができる。	地域発展に関して提案ができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%			25%	15%		100%
(i) グローバル化と地域の関係の理解	20%			5%	5%		30%
(ii) グローバルな知見・視野の拡大	20%			10%	5%		35%
(iii) 地域発展に関する提案	20%			10%	5%		35%
フィードバックの方法	レポート等に助言をつけ討論資料として紹介する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション・ブレインストーミング	ブレインストーミングの内容に関するレポート	240分
2	グラスルーツグローバリゼーションとは何か	関連考察レポート	240分
3	宇宙史的スケール、人類史的スケールの視点	関連考察レポート	240分
4	ゼミへの招待活動Ⅰ	関連考察レポート	240分
5	ゼミへの招待活動Ⅱ	関連考察レポート	240分
6	ゼミへの招待活動Ⅲ	関連考察レポート	240分
7	ゼミへの招待活動Ⅳ	関連考察レポート	240分
8	招待活動の振り返り	関連考察レポート	240分
9	地域での国際交流活動Ⅰ	関連考察レポート	240分
10	地域での国際交流活動Ⅱ	関連考察レポート	240分
11	地域での国際交流活動Ⅲ	関連考察レポート	240分
12	地域での国際交流活動Ⅳ	関連考察レポート	240分
13	国際交流活動の振り返り	関連考察レポート	240分
14	中間レビューの準備	関連考察レポート	240分
15	中間レビュー	関連考察レポート	240分
16	中間レビューの振り返り	関連考察レポート	240分
17	Global Liberal Arts (GLA) とは何か	GLA 関連学習	240分
18	GLA 関連学習と発表Ⅰ	GLA 関連学習	240分
19	GLA 関連学習と発表Ⅱ	GLA 関連学習	240分
20	GLA 関連学習と発表Ⅲ	GLA 関連学習	240分
21	GLA 関連学習と発表Ⅳ	GLA 関連学習	240分
22	成果発表会準備Ⅰ	プレゼン・コンテンツ関連作業	240分
23	成果発表会準備Ⅱ	プレゼン・コンテンツ関連作業	240分
24	成果発表会準備Ⅲ	プレゼン・コンテンツ関連作業	240分
25	成果発表会準備Ⅳ	プレゼン・コンテンツ関連作業	240分
26	成果発表会の振り返り	成果発表会の考察レポート	240分
27	報告書作成分担の検討	報告書分担部分作成	240分

28	報告書作成作業 I	報告書分担部分作成	240 分
29	報告書作成作業 II	報告書分担部分作成	240 分
30	まとめ	自己の総合的レベルアップの考察に関するレポート	240 分

⑫ アクティブラーニングについて			
学生参加型 AL を採用する。学生がチームを編成した上で自主的に課題を考察し、具体的な行動計画を立案し実行するスタイルを徹底する。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
実務経験と授業科目との関連性			